

第 1 号議案

# 令和 5 年度事業報告書

公益目的事業 : 精神障がい者が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう支援する事業

## 1 自主事業 「熊本県あかねの里の運営事業」

- ①利用審査会 : 8回
- ②事業運営委員会 : 2回

### (1) あかね荘事業

#### ① 短期入所事業

事業内容 : 居宅において障がい者の介護を行っている人が、一時的に介護できなくなった場合に、その障がい者を施設に短期間宿泊させ、入浴や食事等、日常生活上の支援を提供する事業を行いました。感染症対策のため受入れはありませんでした。

実績 : 延0人(実数0人)の方が利用

#### ② 自立訓練(生活訓練)事業

事業内容 : 施設や病院から地域生活への移行や地域生活を送るうえで必要な生活能力の維持、向上を図るため、洗濯・整理整頓などの日常生活能力、金銭・服薬管理の訓練や支援等を宿泊または通所により行いました。

実績 : 延べ5,638人(実数37人)、宿泊での延べ利用者7,501人(実数37人)方が利用し、うち10人が地域で自立した生活を送っています。

#### ③ 相談支援事業

一般相談支援事業

事業内容 : 広く一般の方(障がい者、家族等)からの、相談に対し、専門の相談員が電話相談、面談、関係機関との連絡調整等、地域で自立して生活するために必要な支援をする事業を行いました。

実績 : 延べ915人の方が利用

### (2) あかねワークセンター事業

#### ① 就労継続支援(B型)事業

事業内容 : 一般就労が困難な方に、就労や生産活動の機会を提供し、働く為に必要な技術や技能、習慣性の習得やコミュニケーション・体力等の向上を図りながら、目的を持って地域の中で生活ができるように支援する事業を行いました。作業は印刷作業、製菓作業、製靴作業、軽作業等を行いました。

実績 : 延べ5,738人(実数28人)の方が利用

#### ② 多目的ホール開放事業

事業内容 : 施設内の多目的ホールを利用してもらうことにより地域住民に障がい福祉サービス事業所に対する偏見や差別を是正してもらい地域と精神障がい者や障がい福祉サービス事業所との共生を図ることで、精神障がい者の地域生活への移行をスムーズに行えるよう、多目的ホールを広く一般の人や教育機関

等に低額な利用料で開放しています。令和3年度、4年度は新型コロナウイルス感染症対策のため受入れはありませんでしたが、令和5年6月から再開できました。

実績 : 利用者数 626 人 7 団体が利用

### (3) あかねホーム事業

#### ① 共同生活援助事業（グループホーム）

事業内容 : 地域において自立した日常生活を送るため、夜間や休日を含め、共同生活を営む住居において、家事、食事、相談などの日常生活上の援助を行う事業。

実績 : 延べ 3,240 人（実数 12 人）、の方が利用し、うち 3 人が地域で自立した生活を送っています。

## 2 委託事業：次の事業を熊本県・熊本市から受託している。

### (1) 精神科救急情報センター事業

事業内容 : 精神科救急情報センターでは、休日夜間において、緊急に精神科医療を要する精神障がい者やその家族等からの電話相談に対応し、必要な助言や医療機関紹介などを行いました。

精神科救急情報センターは、県内の精神科病院が当番制で相談員（当該病院の看護師や精神保健福祉士等）と専門的にバックアップする医師を配置し、的確な対応ができる体制としました。さらに、当法人の自主的な業務として、相談内容の統計分析を行い、結果はホームページに掲載及び参考のため県にも提供しました。また、相談員の対応能力向上のための研修会等にも活用しております。

実績 : 令和5年度相談対応件数 1,472 件

精神科救急情報センター相談員研修実施

令和5年9月22日（金）熊本県庁地下大会議室 参加者 73 名

### (2) 精神科二次救急医療事業

事業内容 : 休日・夜間における精神疾患の急激な発症や精神症状の悪化等により、緊急に医療を必要とする精神障がい者等に対応するため、県内全精神科病院が輪番制で当法人の業務として事業を行いました。本事業は、外来対応だけでなく、重症の精神科救急患者への入院対応ができるよう、輪番病院に空床を1床確保しました。

実績 : 令和5年度救急患者数 942 件（助言指導 372 件、外来受診 290 件、入院 241 件、その他 39 件）

その他事業 1 : 会員である精神科医療機関の相互支援事業
-------------------------------

## 1 講演会・研修会事業（精神保健医療福祉従事者の人材育成及び教育研修事業）

事業内容 : 精神科医療の向上のため会員間の知識の共有・問題点の把握等を目的として、会員医療機関を対象に講演会研修会事業を行いました。

### (1) 院長会 年6回開催（5/25、7/27、9/21、11/22、1/18、3/21）

: 院長に対して理事会、各委員会、日精協、さらに医師会等からの情報提供及び意見交換を行いました。

### (2) 学術研修小委員会 学術講演会を年5回開催

: 製薬会社等との共催で精神科医療についての学術講演会を企画開催しました。

### (3) 看護部小委員会 研修会を年3回開催

: 新型コロナ感染防止の観点から会員医療機関に勤務する看護師等を対象に看護に関する専門分野の研修会をオンラインで実施しました。また、九精協各県看護部長等代表者会議を開催しました。

### (4) 栄養部小委員会 研修会を年2回開催

: 会員医療機関に勤務する管理栄養士等を対象に栄養に関する専門分野の研修会を実施しました。非常食提供マニュアルにもとづき、災害時に連携をとれるよう圏域ごとに実地訓練を行いました。

### (5) コ・メディカル部小委員会 研修会を年2回開催

: 新型コロナ感染防止の観点から会員医療機関に勤務するコ・メディカルスタッフ等を対象に専門分野の研修会をオンラインで実施しました。うち1回について県、熊本市と合同で説明会（研修会）を開催しました。

### (6) 薬剤部小委員会

: 新型コロナ感染防止の観点から会員医療機関に勤務する薬剤師等を対象に薬剤に関する専門分野の研修会は実施しませんでした。

### (7) 事務長会 研修会を年5回開催

: 会員医療機関に勤務する事務長等を対象に診療報酬改定等について研修会を実施しました。

### (8) その他

: 熊本県・熊本市等の開催する会議等への参加を通じ、当協会の精神保健医療福祉に関する取り組み、考え方等について情報発信、情報提供を行いました。

## 2 機関紙「熊精協会誌」発行事業（精神保健医療福祉に関する普及及び啓発事業）

事業内容 : 会員相互間の情報交換や学術広報を目的として理事会議事録、学術講演録等を掲載した機関紙「熊精協会誌」を年に4回発行（発行部数350部）し、会員及び関係機関に配布しました。熊精協ホームページで会員相互間の情報提供や各種事業の広報をホームページで行いました。

また、令和6年7月の「熊精協会誌200号記念」発行に向け、目次検討、寄稿依頼、記念座談会等を行いました。

協会誌編集委員会 5回開催（4/27、6/7、9/6、12/13、3/6）

記念座談会（1/28）

### 3 精神障害者リハビリ事業

#### (1) くませいフェスタ事業（くませいフェスタ実行委員会）

事業内容 : 会員医療機関の相互交流や精神障がい者のリハビリの一環として会員医療機関に入院している精神障がい者を対象としたレクリエーション大会（第18回くませいフェスタ）を実施しました。

令和5年11月17日（金） 4会場 UDe-sports 参加者約350名

#### (2) 作品展示への事業協力

・「第59回熊本県精神保健福祉大会」における作品展示に協力

令和6年1月19日（金） 宇土市民会館

・「第29回精神障がい者作品展示事業（心の健康フェスタ）」における作品展示に協力（看護部小委員会、コメディカル部小委員会）

令和5年11月12日（日） 下通アーケード内

### 4 災害時精神科医療機関支援事業

事業内容 : 県内外における大規模災害を想定し、精神障害者の医療支援や被災者のこころのケアを行う精神科医療機関の研修、人材育成、災害対応機器の整備等を行う。

・熊精協災害対応訓練の実施（情報伝達）（4/17、8/1、12/1）

・熊精協ネットワークシステム（EMIS、LINE、KEMIS等）の利活用

・熊本 DCAT（災害派遣福祉チーム）隊員スキルアップ研修会への参加。能登半島地震に伴い登録隊員を2名現地派遣。

その他事業2 : 県・市からの委託事業
---------------------

#### 1 精神障害者搬送業務

事業内容 : 精神疾患の急発または急変のため医療及び保護を必要とする者に迅速かつ適切な医療を提供するため、措置入院患者、医療保護入院患者を医療機関へ搬送する業務を行いました。

実績 : 熊本県内1件（うち熊本市1件）

#### 2 精神障がい者地域移行支援事業

事業内容 : 退院可能精神障害者に対し地域移行支援員が支援活動をする際に困らないよう、アドバイザーを配置し相談に応じる事業を行いました。

実績 : 地域体制整備アドバイザー配置事業  
熊本市関係 3名配置

その他事項 : 関連団体への支援事業他

## 1 関連団体への支援事業

熊本県精神科病院協同組合等への協力支援を行いました。

- (1) 熊本県精神科病院協同組合
  - ・「あかねクリーン」に対する営業協力等
- (2) 熊本県精神保健福祉協会の事業
- (3) 熊本県精神保健福祉センターの事業

## 2 共催・後援

- ・ NPO 法人熊本県断酒友の会アルコール健康障害対策一般市民公開セミナーの後援 (05/7/16)
- ・ ギリアド・サイエンシズ (株) 主催熊本県内科医会学術講演会 COVID-19 Web Seminar in 熊本の後援 ((05/9/7)
- ・ 第 51 回熊本県精神障がい者家族大会の後援 (05/9/15)
- ・ 第 15 回熊本県医療・保健・福祉連携学会の協賛 (05/10/1)
- ・ 公益社団法人日本医業経営コンサルタント協会九州・沖縄地区合同研修会の後援 ((05/10/21)
- ・ 第 20 回熊本アディクションフォーラムの後援 (05/10/29)
- ・ 認知症市民フォーラム in うき 2023 の後援 (05/11/11)
- ・ こころの健康フェスタ「第 29 回精神障がい者作品展示事業」の共催 (05/11/12)
- ・ 平成 5 年度熊本県地域精神障がい者スポレク大会 (第 30 回ふれあいピック) の後援 (05/11/22)
- ・ 第 19 回熊本作業療法学会の後援 (05/11/26)
- ・ アツヴィ合同会社主催 Virral Hapititis Collaboration Web Seminar の後援 (05/12/21)
- ・ 第 59 回熊本県精神保健福祉大会の後援 ((06/1/19)

## 3 各関係機関との連携

関係機関等の要請に応じ、各種審査会や協議会等への協力支援を行いました。

- (審査会等への出席) 熊本県精神医療審査会など
- (会議等への出席) 熊本県医療審議会、熊本県自殺対策連絡協議会など
- (研修等への協力) 熊本県弁護士会の研修会など
- (医師等の推薦) 心神喪失者等医療観察法に基づく精神保健判定医の推薦など
- (その他) くまもと自殺予防医療サポートネットワーク事業

## 4 九精協・日精協及び関連機関の事業支援

### (1) 九精協

九精協各県看護部長等代表者会議を開催 (熊本ホテルキャッスル) (05/6/30)

参加者数 : 105 名

### (2) 日精協

第 12 回日本精神科医学会学術大会を開催 (熊本城ホール) (05/10/12~13)

参加者数 : 996 名

プログラム：会長講演、特別招待講演 2、特別講演 2、教育講演 2、日本専門機構共通講習(医療安全、感染対策、医療倫理)、産業医講習、DPAT 講習、感染対策講習、シンポジウム 10、スライド発表 132 演題、ポスター発表 40 演題

(3) 日精協熊本県支部

熊本県四病院団体会長・支部長懇談会（熊本ニュースカイ）（05/12/6）

熊本県四病院団体合同研修会を世話役団体として開催(熊本県医師会館)（06/2/29）

参加者数：76 名

講師：一般財団法人医療情報システム開発センター理事長 山本隆一先生  
医療 DX（医療デジタルトランスフォーメーション）について

5 その他

(1) 会員の入会・退会について

入会：ほしのマロニエこころのクリニック（05/9/21）

退会：なし

(2) 要望等について

特になし

1 学術講演会

	開催日	演題	講師
1	R5 年 7 月 27 日	不眠症の対応における有害事象を最小限化するための治療戦略	九州大学病院 精神科神経科 診療准教授 小原知之先生
2	R5 年 9 月 21 日	みんなの価値を大切にする病院へ～パーソナルリカバリーを目指した多職種協働～	医療法人むつみホスピタル 理事長 井上秀之先生
3	R5 年 11 月 22 日	気分障害と睡眠～生物学的な要素も含めて～	医療法人仁祐会 小鳥居諫早病院 院長 小鳥居望先生
4	R6 年 1 月 18 日	いまあらためて遅発性ジスキネジア（TD）を語る	愛知医科大学精神科学講座 准教授 森 康治先生
5	R6 年 3 月 21 日	精神科外来におけるオンライン診療の活用について 新時代の精神科医療におけるゼブリオン TRI®の意義	医療法人明和会 くまもと悠心病院 院長 宮内大介先生 医療法人社団更生会 草津病院 副院長 藤田康孝先生

## 2 研修会

### (1) 看護部小委員会

	開催日	会場	内容
1	R5年6月30日 第83回研修会(第17回九精協各県看護部長等代表者会議)	熊本ホテルキャッスル	テーマ「外国人労働者人材の活用」 司会：県立こころの医療センター 平田孝治 看護部長 発表： 阿蘇やまなみ病院 長野康二 看護部長 あおば病院 花園美佐子 看護部長
2	R5年9月28日 第84回研修会	オンライン研修会	テーマ「看護管理者とスタッフがイキイキと働き続けられる部署づくり」 講師：社会福祉法人愛成会 仲野 栄先生
3	R6年2月22日 初任者研修会	オンライン研修会	テーマ「改めて精神科看護の基本となる知識、技術を習得しよう！」 講師：株式会社ここから 代表取締役 村本好孝先生

### (2) 栄養部小委員会

	開催日	会場	内容
1	R5年6月22日	嘉島リバゾン組合会館	事例発表「完全調理品を導入した食事提供について～人材不足解消への取り組み～」 阿蘇やまなみ病院 森本亜樹先生 「当院の栄養指導の実際と今後の課題」 桜が丘病院 重岡真美先生 「嚥下調整食の取り組み」 菊陽病院 松永和美先生 「NSTの実際」 くまもと心療病院 木下純子先生 グループワーク「事例発表から解決のヒントを見つけよう」
2	R6年3月7日	嘉島リバゾン組合会館	演題「サバイバルフーズについて」 講師：セイエンタプライズ セイショップ 事業部長 米山篤先生 「ストレスマネジメントについて」 講師：ヒューマンケア熊本 メンタルヘルスカウンセラー 森川泰寛先生



## (3) コ・メディカル部小委員会

	開催日	会場	内容
1	R5年7月4日 第62回研修会	オンライン研修会	講演「NEXTEPの就労支援事業の実際」 講師：認定NPO法人NEXTEP 理事長 島津智之先生
2	R6年2月7日、16日 第63回研修（県・熊本市と合同）	オンライン研修会	「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律の一部改正に関する説明会」 講師：県障がい者支援課 安武澗香 主任技師、熊本市こころの健康センター 田代素子 技術主幹 他

## (4) 事務長会

	開催日	会場	内容
1	R5年4月11日	オンライン研修会	演題「インボイス制度の概要」 講師：熊本西税務署 鬼東拓廊 国税調査官 「ハイリスク妊産婦連携について」 講師：福田病院地域連携室
2	R5年7月25日	熊本テルサ	演題「精神保健福祉法の一部改正について」 講師：熊本市こころの健康センター 村上京子 技術主幹 「精神科病院における虐待防止に向けた取組の実施について」 講師：県障がい者支援課 岩永直美主幹、田代順子主幹
3	R5年9月15日	オンライン研修会	事例報告「医師の宿日直許可について」 自由が丘病院、有働病院 他
4	R5年11月27日	ハイブリッド研修会 (くませいビル)	情報提供「災害バルク補助事業の説明」 講師：日精協サービスセンター 佐々木営業部長、山陰酸素工業株式会社 講演「海外人材の活躍で変わる病院の未来」 講師：桜十字グループ人事総務部 上村啓輔 部長 他2名
5	R6年2月22日	くまもと森都心プラザ	演題「令和6年度診療報酬改定に向けて」 講師：株式会社リンクアップラボ 代表 酒井麻由美先生

# 令和5年度 事業実績

## 1 事業運営

事業種別	事業所名	事業内容
第2種社会福祉事業 (障害福祉サービス事業の経営)	熊本県あかね荘	自立訓練(生活訓練)事業 (定員40人)
		宿泊型自立訓練事業 (定員40人)
		短期入所事業 (定員2人)
	熊本県あかねホーム	共同生活援助事業 (定員10人)
	熊本県あかねワークセンター	就労継続支援B型事業 (定員30人)

## 2 月別利用者実績

月別	利用者数	あかね荘		あかねホーム		あかねワークセンター		計	
		R4年度	R5年度	R4年度	R5年度	R4年度	R5年度	R4年度	R5年度
	月	人	人	人	人	人	人	人	人
	4	40	56	7	10	20	26	67	92
	5	46	56	7	10	22	26	75	92
	6	48	49	7	9	21	25	76	83
	7	54	45	7	9	21	25	82	79
	8	56	44	7	9	22	26	85	79
	9	54	46	7	9	22	26	83	81
	10	52	40	9	9	26	26	87	75
	11	50	38	9	9	25	25	84	72
	12	52	36	9	9	25	26	86	71
	1	56	42	9	9	25	26	90	77
	2	50	44	10	9	25	26	85	79
	3	52	42	10	8	26	24	88	74
	計	610	538	98	109	280	307	988	954
	平均利用者数	51	45	8	9	23	26	82	80

\* 月別利用者数は、自立支援費が日払いであることから、自立支援費請求人数とした。

## 3 利用率

(単位:人)

事業所名	提供サービス		R3年度	R4年度	R5年度
あかね荘	自立訓練(生活訓練)	延べ利用者	5,220	6,633	5,638
		1日平均利用者	19.5	24.7	20.9
		利用率	48.5%	61.6%	52.2%
	宿泊型自立訓練 短期入所	延べ利用者	6,953	8,839	7,501
		1日平均利用者	19.1	24.3	20.5
		利用率	47.6%	60.5%	51.2%
あかねホーム	共同生活援助	延べ利用者	2,331	2,975	3,240
		1日平均利用者	6.4	8.2	8.9
		利用率	63.9%	81.5%	88.5%

あかねワークセンター	就労継続支援B型	延べ利用者	4,816	5,315	5,738
		1日平均利用者	18	19.8	21.3
		利用率	59.7%	65.9%	70.8%
合計		延べ利用者	19,320	23,762	22,117
		1日平均利用者	63	77	71.6
		利用率	52.5%	64.2%	59.7%

\* 利用率:対定員数

#### 4 障害種別利用者数(受給者証標記)

(単位:人)

	精神	知的	身体	重複	計	
あかね荘	34	2	0	2	38	重複の内訳:2(知的・精神)
ホーム	12	2	0	0	14	
ワークセンター	28	3	0	0	31	
計	74	7	0	2	83	重複の内訳:2(知的・精神)

\* 人数は実数

#### 5 サービス管理責任者を中心とした個別支援計画に基づく支援の向上

- (1) 利用者の希望や意向を重視した個別支援計画の策定
- (2) 個別支援計画に基づく統一支援の徹底
- (3) 利用者の人格尊重に基づいた支援の徹底
- (4) スーパービジョンによる支援の徹底
- (5) サービス管理責任者による各種支援計画の管理と指示系統の徹底
- (6) 相談支援事業所との連携強化

## 6 見学者の受入実績

月	機関数(箇所)	人数(名)	備考
4	3	13	利用希望者、行政機関、精神科病院、教育機関等からの見学 前年度比、機関数で+19箇所(+79%)、人数で+62名(+86%)でした
5	6	17	
6	1	2	
7	3	9	
8	4	14	
9	5	13	
10	1	2	
11	7	21	
12	5	16	
1	0	0	
2	3	12	
3	5	15	
計	43	134	
1ヶ月平均	4	11	

\* 毎週水曜日午後2時から見学会を実施している。

## 7 職員配置基準数(令和5年4月1日現在)

専従・兼務の別	あかね荘		あかねホーム			あかねワークセンター		
	常勤・専従	常勤・兼務	常勤・専従	常勤・兼務	パート・専従	常勤・専従	常勤・兼務	パート・専従
管理者		1		1			1	
サービス管理責任者		2		1			1	
地域移行支援員		13						
生活支援員							3	
看護職員		1						
職業指導員						1		
目標工賃達成指導員						1		
世話人				7				
事務員		1						
実人数	22							

\* 職員配置については、各事業の定員数に応じた人員配置を行っている。

## 8 住居について

	入所前の住居について(R5年度新規利用者)								
	自宅・アパート等		グループホーム	福祉ホーム	共同住居	入所施設	精神科病院	その他	合計
	単身生活・結婚等の自立生活	親・兄弟等に扶養された生活							
あかね荘	0	0	0	0	0	0	12	0	12
あかねホーム	0	0	0	0	0	2	0	0	2

	退所後の住居について(R5年度訓練終了者)								
	自宅・アパート等		グループホーム	福祉ホーム	共同住居	入所施設	精神科病院	その他	合計
	単身生活・結婚等の自立生活	親・兄弟等に扶養された生活							
あかね荘	2	3	5	0	0	0	4	0	14
あかねホーム	0	0	3	0	0	0	0	0	3

## 9 日中活動について

	退所後の日中活動について(R5年度訓練終了者)								
	就労		B型事業所	就労移行	病院デイケア	入所施設	精神科病院	その他	合計
	一般の事業者に雇用(障害者雇用含む)	A型事業所							
あかね荘	0	1	4	0	2	0	4	3	14
あかねホーム	0	0	3	0	0	0	0	0	3
あかねワークセンター	0	0	0	0	0	1	0	1	2